

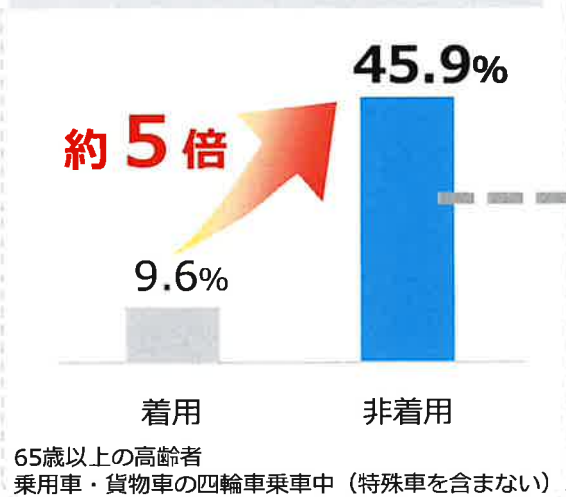
シートベルトは命綱！全席着用を！

《高齢者のシートベルト着用状況（令和7年中）》

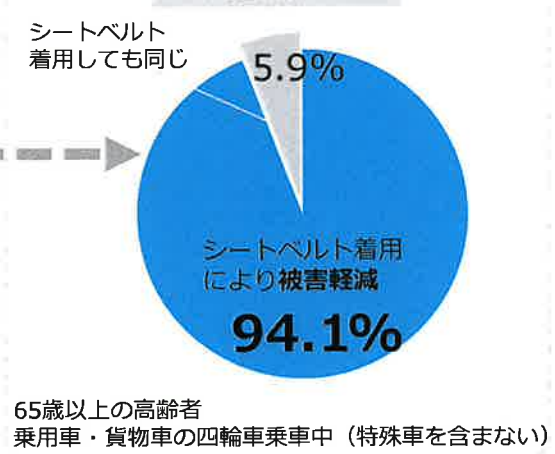
シートベルト非着用時の死亡重傷化率は、着用時と比較して、**約5倍**と大幅に高くなっています。

シートベルト非着用の死亡重傷者のうち、**94.1%**はシートベルトを着用すると被害が軽減した可能性がありました。

シートベルト着用別死亡重傷化率



シートベルト着用ならば被害軽減の有無



シートベルトは、交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減します。

また、正しい運転姿勢を保たせることにより、疲労を軽減するなど、様々な効果があります。

シートベルトは必ず全席で正しく着用しましょう。

（病気などやむを得ない理由がある場合を除く）

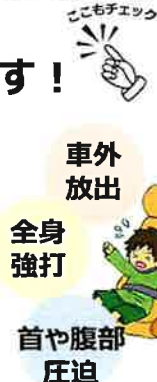
正しい着用方法



こどもの命を守るのは大人の責任です！

チャイルドシートも、交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減します。また、こどもが運転操作の支障となることを防止する効果があります。

チャイルドシートは、使用の方法を誤ると、効果がなくなりますので、正しく使用しましょう。



正しい使用方法



6歳以上であっても、大人用のベルトが正しく着用できるまではチャイルドシートやジュニアシートを使用しましょう。



交通安全かわら版

令和 8 年 4 月
茨城県警察本部交通総務課
No. 1 4

～ 令和 8 年 3 月末の交通死亡事故～

令和 8 年 3 月末の交通死亡事故の特徴【発生件数 29 件、死者 29 人】

- 本県の死者 29人 前年比 +9人 全国ワースト第7位
 - ◇ 人口10万人当たり 1.04人 (全国ワースト第4位)
 - ◇ 自動車1万台当たり 0.11人 (全国ワースト第6位)
 - ◇ 道路千キロメートル当たり 0.52人 (全国ワースト第16位)
- 全国の死者数 596人、前年比 -18人 (増減率 -2.9%)

- ◆ 「高齢者」の死者数 19人 (構成率 65.5%)、前年比 +7人 (全国ワースト第3位)
- ◆ 「飲酒運転」による死亡事故は 2件、前年比 ±0件
- ◆ 「高齢者」が第1当事者となる死亡事故は 16件、前年比 +7件
- ◆ シートベルト非着用の死者数は 7人、前年比 +3人
- ◆ 県央地域で 9人 (構成率 31.0%)



【交通死亡事故の主な特徴】

(1) 市町村 ※高速道路を除く	◇ 多発市町村 水戸市 3人 笠間市, ひたちなか市, 土浦市, 筑西市, 古河市, 取手市 各2人
(2) 第1当事者の年齢層 (件)	◇ 70歳以上 13件(+8) ◇ 高齢者 16件(+7), 青少年 1件(±0)
(3) 第1当事者の違反 (件)	◇ 前方不注意 6件(+4) 歩行者妨害 5件(+2)
飲酒運転 (件)	◇ 飲酒運転による交通死亡事故 2件(±0)
(4) 状態	◇ 四輪車 13人(±0) うち同乗 0人(-4), 歩行者 11人(+5) うち横断中 7人(+2) 自転車 3人(+3), 二輪車 2人(+1)
(5) シートベルト	◇ 四輪乗車中 13人 うちシートベルト非着用 7人(53.8%), 着用 6人(46.2%) 非着用7人中、6人(85.7%)は着用していたら助かった可能性あり
(6) 時間・昼夜	◇ 時間帯別 4～6時(±0), 14時～16時(+1), 16～18時(+2), 18～20時(+3) 各4人 ◇ 昼間 13人(+3) 構成率 44.8%, 夜間 16人(+6) 構成率 55.2%
(7) 事故類型	◇ 人対車両 11人(+6), うち横断中 7人(+2) ◇ 車両相互 11人(+4), うち正面衝突 5人(+3) ◇ 車両単独 6人(-2), うち工作物 5人(-2) ◇ 列車 1人(+1)
(8) 死者の年齢層	◇ 70歳代 9人(+5), 80歳以上 8人(+2), ◇ 高齢者 19人(+7) 構成率 65.5%
特記事項	◇ 令和8年3月中の死亡事故(発生件数8件, 死者数8人)の特徴 ・第1当事者の年齢層別事故件数では、高齢者が4件(50.0%) ・死者の状態別では、四輪車が4人、歩行者3人 ・死者の年齢層別では、高齢者が6人(75.0%) ・列車事故が1件

- ※注 1 「青少年」とは16歳以上24歳以下、「高齢者」とは65歳以上をいう。
2 「飲酒運転」とは原付以上が第1当事者となった事故で、その運転者が飲酒していた場合をいう。
3 ()内は前年比
4 数値はいずれも速報値